

株式会社 南国スタイル

組織形態：J A出資法人

取組範囲：南国市全域

法人設立：平成 24 年 4 月 2 日

所在地：南国市福船 372

資本金等：5,129 万円

(J A 4,100 万円、農業者 30 万円、アグリビジネス投資育成(株)999 万円)

役員：取締役 3 名 (常勤 2 名)、監査役 1 名

従業員：正社員 6 名、契約社員 7 名、パート社員 2 名

その他：常勤取締役の 2 名及び正社員の 1 名は J A からの出向

事業内容

- ・農業生産：水稲 23ha、次世代型施設パプリカ 65a、
キャベツ 400a、ダイコン 50a、オクラ 80a
- ・加工販売：農家レストラン・加工室・直販所の運営
- ・農産物の仕入れ販売：市内学校給食、飲食店他

資本装備

- ・施設等：事務所、機械倉庫、野菜調整場、次世代型施設園芸ハウス・環境制御機器 1 棟 70a、
農家レストラン・加工室・直販所 (J A 施設)
- ・機械等：トラクター、ハロー、コンバイン、管理機、畔塗機、パプリカ重量選別機、積載車 等



キャベツ栽培

活用した主な補助金等

- ・国事業：農山漁村振興交付金
- ・県事業：次世代施設園芸モデル事業、複合経営拠点支援事業
- ・J A 事業：県域企画応援事業

設立の経緯

平成20年の旧J A南国市総代会にて南国市地域の10年後の農業像が策定された際、10年後には、担い手が約半数に減少する危機的数値が示されたことをきっかけに、地域の農地を守り、生産を維持し、後継者を育成することを目的に、J Aの子会社として設立された。

事業戦略

「施設農業」と「露地農業」での安定収量の確保、「営業・事務」での売上の向上、「水稻」を含めた収支黒字化、「教育・育成」による組織体制の強化などに取り組み、地域の農業を支え従業員が他産業並みの所得を確保できる経営を目指す。

取り組みの特徴

次世代型施設園芸ハウスにおいて、パプリカ単収22.9トンの多収生産を実現。



次世代型施設園芸ハウス

令和5年3月現在